

インフルエンザ等の出席停止について

令和7年1月9日
鴻巣市立小谷小学校
保健室

【インフルエンザについて】発症後5日を経過し、かつ、解熱後2日を経過するまで

- ☒①発症後、5日、経過している。
☒②熱が下がり2日、経過している。

この①②の両方をクリアしないと登校できません。

◎1月8日にインフルエンザを発症した場合を、5人のパターンを例にして、説明します。

※一例です。ご不明の場合は、主治医または学校へ出席停止期間についてご確認ください。

		1/8	1/9	1/10	1/11	1/12	1/13	1/14
(例) Aさん	①発症	主な症状(熱)が出た当日	発症から1日目	発症から2日目	発症から3日目	発症から4日目	発症から5日目	1/14 登校可能
	②熱	39.3℃	熱が平熱に下がった日	熱下がり1日目	熱下がり2日目			



感染拡大防止・学年閉鎖防止のため、ご理解、ご協力をお願いいたします。
また、うがい・手洗い・マスクの着用など、引き続き感染症対策をしていきましょう。

		1/8	1/9	1/10	1/11	1/12	1/13	1/14
(例) Bさん	①発症	主な症状(熱)が出た当日	発症から1日目	発症から2日目	発症から3日目	発症から4日目	発症から5日目	1/14 登校可能
	②熱	39.3℃	38.4℃	38.0℃	熱が平熱に下がった日	熱下がり1日目	熱下がり2日目	

1/8に発症し1/9に熱が下がったAさん、1/8に発症し1/10に熱が下がったBさんですが【発症後5日を経過】する、1/13より前に登校することはできません。

		1/8	1/9	1/10	1/11	1/12	1/13	1/14	1/15
(例) Cさん	①発症	主な症状(熱)が出た当日	発症から1日目	発症から2日目	発症から3日目	発症から4日目	発症から5日目		1/15 登校可能
	②熱	39.3℃	38.4℃	38.0℃	37.8℃	熱が平熱に下がった日	熱下がり1日目	熱下がり2日目	

1/8に発症し1/12に熱が下がったCさんの場合、【発症後5日を経過】するのは1/14ですが、熱が下がって2日経過していないので、【解熱後2日を経過】する1/15からの登校になります。

		1/8	1/9	1/10	1/11	1/12	1/13	1/14	1/15	1/16
(例) Dさん	①発症	主な症状(熱)が出た当日	発症から1日目	発症から2日目	発症から3日目	発症から4日目	発症から5日目			1/16 登校可能
	②熱	39.3℃	38.4℃	38.0℃	37.8℃	37.8℃	熱が平熱に下がった日	熱下がり1日目	熱下がり2日目	

1/8に発症し1/13に熱が下がったDさんの場合、発症後5日を経過するのは1/14ですが、熱が下がって2日を経過する、1/16からの登校になります。

		1/8	1/9	1/10	1/11	1/12	1/13	1/14	1/15	1/16	1/17
(例) Eさん	①発症	主な症状(熱)が出た当日	発症から1日目	発症から2日目	発症から3日目	発症から4日目	発症から5日目				1/17 登校可能
	②熱	39.3℃	38.4℃	38.0℃	37.8℃	37.8℃	37.9℃	熱が平熱に下がった日	熱下がり1日目	熱下がり2日目	

1/14に熱が下がったEさん、【発症後5日を経過】していますが、熱が下がって2日経過する、1/17からの登校になります。

▽学校へ連絡の際、お伝えいただきたいこと▽

- ①インフルエンザと診断を受けた病院名 ②診断された日にち ③医師から言われた出席停止の期間（登校してよい日） ④熱が出始めた日
⑤熱が下がった日（後日報告でも可。登校前には必ず報告してください。） ⑥抗インフルエンザウイルス薬の服用の有無

【その他の出席停止について】

第1種感染症：感染症予防法一類感染症、二類感染症に分類されるもの

エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、重症急性呼吸器症候群(SARS)、痘そう、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎(ポリオ)、コレラ、細菌性赤痢、ジフテリア、腸チフス、パラチフス、新型コロナウイルス感染症

第2種感染症：飛沫感染するもので、児童生徒等の罹患が多く、学校において流行を広げる可能性が高い感染症

インフルエンザ・百日咳・麻疹（はしか）・風疹・流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）・水痘（水ぼうそう）・咽頭結膜熱（プール熱）・結核・髄膜炎菌性髄膜炎、新型コロナウイルス感染症

第3種感染症：教育活動を通じ、学校において流行を広げる可能性があるもの

流行性角結膜炎・急性出血性結膜炎・腸管出血性大腸菌感染症

その他感染症：出席停止の措置が必要とされる感染症

ヘルパンギーナ・手足口病・伝染性紅斑・溶連菌感染症・感染性胃腸炎・マイコプラズマ肺炎・带状疱疹・単純ヘルペス・ウイルス性肝炎

※学校において予防すべき感染症の解説 公益財団法人 日本学校保健会 参考